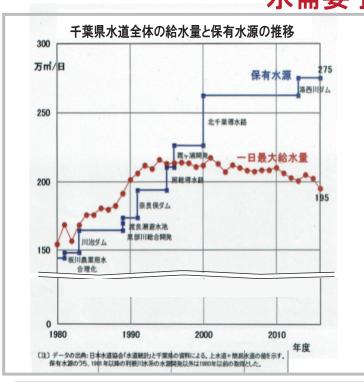
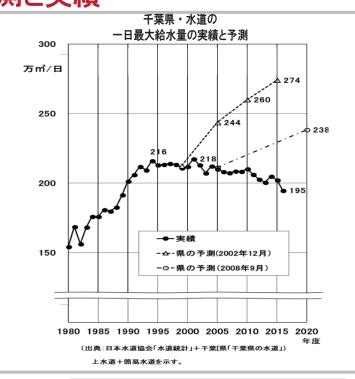
## 水

# 水需要予測と実績





+ 41	<del>-</del>	レエロ	14=
木利	用フ	人利	作霍

		事業体	参画水量(m²/s)	取得水利権水量 (㎡/s)	未利用水利権
	香取	-	0.162	0.139	0.023
霞ケ浦開発	銚子	-	0.400	0.289	0.111
	<b>千葉</b>		0.351	0.000	0.351
房総導水路	千葉	· · ·	0.500	0.000	0.500
		1里地域水道企業団	0.200	0.098	0.102
高滝ダム	市原		0.500	0.266	0.234
黒部川総合開発 東総広域水道企業団		0.568	0.330	0.238	
平成29年3月31日 合計					
					1.559(m/s)
一日当たり 134,698(㎡/日)					

オリクエノハ イリが生	新	規ス	人利	権
-------------	---	----	----	---

או ני ויינועל ועלי E				
	開発水量	完成予定 年度		
八ッ場ダム 通年(千葉県、北千葉、印旛)	1.88	2019		
ハッ場ダム 非かんがい期のみ (千葉県)	0.47	2019		
霞ヶ浦導水事業(印旛、九十九里)	1.086	2023		
思川開発(北千葉)	0.313	2024		
	合計 3. 749(㎡/s)			
一日当たり 323, 914(m³/日)				

資料:千葉県、国の資料に基づき作成

# 石炭火力発電所

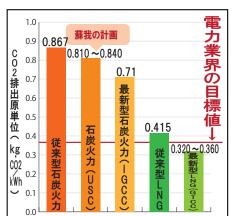
## 燃料種ごとの CO2 排出係数 (発電量あたりの CO2 排出量)

同じ発電量で 石炭 0.71 kg LNG 0.320~0.415 kg

■ USC: 超々臨界圧発電 ■IGCC: 石炭ガス化複合発電 ■GTCC: ガスタービン複合発電

■電力業界の目標値:電気事業業界団体の2030年度の排出係数目標(370g-CO2/kWh)

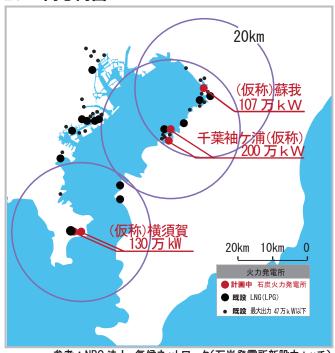
※ 石炭火力 (USC), 最新型 LNG (GTCC) は、設備容量により排出原単位が異なる。



参照:「2015 年版 環境白書」を基に作成

#### 東京湾火力発電所分布

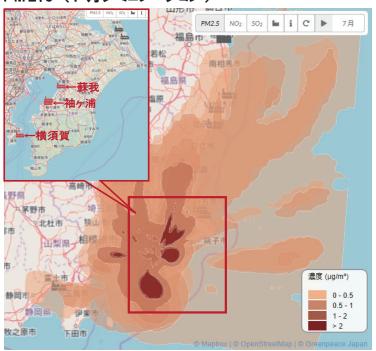
#### 石炭火力発電所建設計画地から 20 km同心円図



参考: NPO 法人 気候ネットワーク(石炭発電所新設ウォッチ)

## 石炭汚染シミュレーションマップ

蘇我、袖ヶ浦、横須賀が稼働した場合 PM2.5(7月シミュレーション)



資料:国際環境 NGO グリーンピース・ジャパン、NPO 法人 気候ネットワーク

## 粉じん

## 石炭火力発電所予定地周辺の 千葉市中央区蘇我地区にある 粉じん発生施設

住民から

「今でも粉じん問題が深刻な中、その解決の道筋も見えないまま石炭火力発電所建設は受け入れられない」 との声が多く出されている。



資料:蘇我石炭火力発電所計画を考える会より

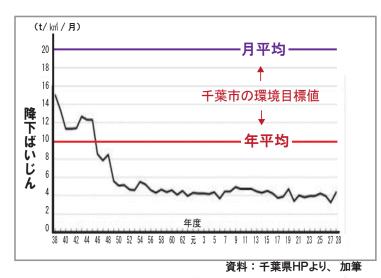
## 降下ばいじん量の経年推移

調査実施機関

千葉県、千葉市、柏市、市原市 (平成 26 年度までは、市川市、 船橋市、松戸市も調査を実施)

昭和 50 年代にかけて濃度が低下し、その後は横ばいで推移し、平均4 t/km/月前後。

法や条例での規制はなく、千葉市は環境目標値を 制定し、一定の目安としている。



#### 降下ばいじん(平成28年) 臨海部

千葉県の降下ばいじん調査の一部

千葉市10地域

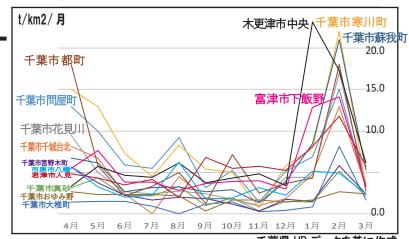
木更津市中央

市原市八幡 君津市人見

富津市下飯野

(注) 千葉市の月間値は市からの報告値

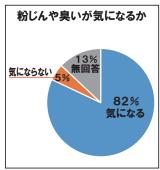
臨海部の粉じん問題は千葉市だけではなく、富津市でも 値が高く県臨海部に普遍的な問題であることが分かる。

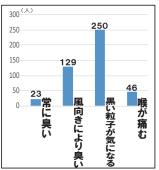


千葉県 HP データを基に作成

## 粉じんアンケート結果

臨海部工場周辺の住民を対象に粉じん問題について アンケート調査 (3万枚配布し335人から回答)





蘇我石炭火力発電所計画を考える会アンケート調査結果

## 夜間定時制高校の給食

県立市川工業高校定時制 食堂の風景





資料提供:千葉県夜間定時制高校の給食を守る会